

平成 27 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 自主研究 14
主査名	中村文彦
研究テーマ	新興国の都市公共交通政策の動向に関する研究
研究の目的: <p>本年度は、この2年間の成果を引き継ぎ、対象地域にアフリカや中南米の大都市を加え、一方で、特に都市公共交通にかかる課題に焦点を絞り、文献調査や、対象地域からの留学生や招聘研究者へのヒアリングを通して、現状と課題について資料を収集する。具体的な政策課題への展開については、過去20年を念頭に、各公共交通機関、関連する道路交通政策について、どのような研究調査が展開されたかを整理した上で、環境問題、エネルギー問題、健康問題、貧困問題、交通事故問題とモータリゼーション問題とのバランスの中で政策課題について検討する。</p>	
研究の経過(4月～9月): <p>研究会を3回開催した(6月4日、8月4日、10月20日)。内外の学術刊行物の中での新興国の都市公共交通に関連する研究事例のレビュー、南米のブラジルやコロンビアの都市公共交通の事例紹介、これらの国の公共交通を題材とした研究分析事例の紹介などを行った。低所得者地区の交通行動の変化の可能性、BRT システムにおける専用道路舗装維持管理費用の計算などについての討議を行っている。</p>	
下期へ向けて(課題等): <p>文献レビューを精力的に継続し、今後、日本交通政策研究会など国内学術組織で取り組むべき課題をあきらかにしていく。ビエンチャン、コンケン、クリチバ、アスンシオン、メデジンなど東南アジアや南米の大都市あるいは中規模都市をフィールドとした研究成果を共有し、具体的な都市交通の動向や政策動向をモニタリングしていく。</p>	
研究メンバー(敬称略): <p>中村文彦(主査・横浜国立大学) 太田勝敏(東京大学名誉教授) 竹内健蔵(東京女子大学) 寺田一薫(東京海洋大学) 岡村敏之(東洋大学) 加藤博和(名古屋大学) 松行美帆子(横浜国立大学) 板谷和也(流通経済大学) 中道久美子(東京工業大学) 中村一樹(香川大学) 秋元伸裕(計量計画研究所) 矢部努(計量計画研究所) 長瀬吉夫(いすゞ自動車) 坂本邦宏(イーグルバス) 高橋洋一(横浜国立大学) 土屋広太郎(横浜国立大学) 藤原伸宜(横浜国立大学)</p>	